

- 問1 1970年代に発生した「石油危機（オイル・ショック）」が、日本の経済成長に与えた影響と、その後の社会の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- 輸出を制限して輸入を促進する政策がとられ、貿易摩擦を解消するために円安誘導が行われた。
 - エネルギー源が石炭から石油へと転換するエネルギー革命が始まり、重化学工業が飛躍的に発展した。
 - 景気が過熱して地価や株価が異常に値上がりするバブル経済が発生し、消費が大幅に拡大した。
 - 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。
- 問2 ドイツが関わった2つの同盟、「三国同盟（1882年）」と「日独伊三国同盟（1940年）」の違いを説明した文として、適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
- 1882年の同盟はオーストリア・イタリアと結んだものであり、1940年の同盟は日本・イタリアと結んだものである。
 - 1882年の同盟はベルリンの壁崩壊の直後に結ばれたものであり、1940年の同盟はワイマル憲法制定の背景となったものである。
 - 1882年の同盟は第二次世界大戦中に結ばれたものであり、1940年の同盟は帝国成立直後に結ばれたものである。
 - 1882年の同盟は日本を含むアジアとの連携を目的とし、1940年の同盟はヨーロッパ内での孤立を防ぐために結ばれた。
- 問3 オーストラリアで1970年代までとられていた「白豪主義」と呼ばれる政策の内容と、その後の変化について説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- 特定の人種を居住区や公共施設で分離させていたが、廃止後は先住民のアボリジニが政治の実権を握った。
 - イギリス以外のヨーロッパ諸国からの移民を制限していたが、現在は欧州連合（EU）との連携を強めるため受け入れを拡大している。
 - ヨーロッパ系以外の移民を制限していたが、廃止後は多様な民族の文化を尊重する多文化主義へと転換した。
 - アジアからの安価な労働力を確保するために移民を推奨していたが、現在は国内の失業対策のため移民を禁止している。
- 問4 1972年から1990年にかけての世界情勢の変化において、1989年は歴史的な転換点となりました。この年、アメリカとソ連の首脳が会談し、冷戦の終結を宣言したことによってもたらされた状況として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
- アジア・アフリカの植民地から独立した諸国が集まり、平和十原則を採択して第三勢力として結束した。
 - マーストリヒト条約が発効し、ヨーロッパ諸国の経済的・政治的な統合を目的としたヨーロッパ連合（EU）が発足した。
 - アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。
 - 毛沢東を主席とする中華人民共和国が成立し、東アジアにおいて社会主義の影響が大きく拡大した。
- 問5 日本の戦後政治の歩みにおいて、1972年の沖縄返還から1993年の非自民連立政権の誕生までの期間（約21年間）に起こった出来事として、適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
- 日ソ共同宣言が調印され、日本の国際連合への加盟が認められた
 - サンフランシスコ平和条約が調印され、日本の主権が回復した
 - 日中共同声明が調印され、日本と中国の国交が正常化した
 - ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった
- 問6 1989年、ドイツでのベルリンの壁崩壊など、東欧諸国で民主化が急速に進展する情勢の中で行われた、アメリカとソ連の首脳による会談の名称として正しいものはどれか。（2023年 北海道公立入試 類似）
- マルタ会談
 - ヤルタ会談
 - サンフランシスコ平和会議
 - ポツダム会談
- 問7 現代の日本において、2001年以降のインターネット普及は、人々のコミュニケーションの形を大きく変えました。家族で一台の受信機を囲んで放送を聴くような伝統的なメディアの利用スタイルと比較して、インターネットが持つ「双方向性」を具体的に説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
- 発信者が決めた時間に、あらかじめ用意された情報を一度に受け取ること。
 - 情報を発信する側と受け取る側の境界が低くなり、互いに情報を送り返合うこと。
 - プロの発信者が制作した質の高いコンテンツを、家庭で静かに視聴すること。
 - 新聞や雑誌のように、印刷された文字情報を正確に読み取ること。
- 問8 オーストラリアが20世紀後半に「白豪主義」を廃止し、移民政策を大きく転換させた理由とその後の社会の変化についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。
 - アメリカ合衆国の統治から独立する条件として、人種差別的な法律をすべて廃止し、英語以外の言語を公用語として認めるようになった。
 - インカ帝国の滅亡をきっかけに、先住民とヨーロッパ系移民が対等に暮らすための新しい憲法を制定し、国際社会への復帰を果たした。
 - イギリスの流刑地としての役割を継続するために、ヨーロッパ以外からの移民を一時的に禁止したが、労働力不足によりその方針を撤回した。
- 問9 一九九一年にソ連が解体に至った主な背景として、当時の国内状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）
- すべての共和国が連邦の維持を強く望んだが、国際連合の命令により解体されたため
 - 社会主義体制のもとで経済成長が著しく、国民がさらなる自由を求めたため
 - 他国からの大規模な武力攻撃を受けて、連邦政府が機能を停止したため
 - 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため
- 問10 日本と近隣諸国との関係および冷戦終結期の国際情勢について述べた文として、1965年の条約締結と1990年の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
- 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。
 - 日中共同声明によって中国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。
 - 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年にはイギリスから香港が返還された。
 - サンフランシスコ平和条約によって主権を回復し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。
- 問11 1993年に発効したマーストリヒト条約に基づき、ヨーロッパの国々が経済的・政治的な統合を深めるために発足させた組織の名前として正しいものを選択してください。（2024年 山形県公立入試 類似）
- 欧州連合（EU）
 - 東南アジア諸国連合（ASEAN）
 - 欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）
 - 北大西洋条約機構（NATO）
- 問12 19世紀後半から20世紀後半にかけての国際協力の歩みについて、正しい説明はどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
- 第二次世界大戦の終結後、ヨーロッパ諸国の統合を目指して1945年に「欧州連合（EU）」がただちに発足した。
 - 1882年に「国際極年」が制定され、国境を越えた科学的な国際観測が行われるようになった。
 - 1992年には、深刻な食料問題を解決するため、アフリカで史上初の「地球サミット」が開催された。
 - 第一次世界大戦直後の1920年には、アメリカの強い主導により「国際連合」が発足した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。	1973年の石油危機により、原油価格の高騰から狂乱物価と呼ばれる激しいインフレが起こりました。これにより、1950年代半ばから続いていた実質経済成長率10%前後の「高度経済成長」が終わり、1974年には戦後初のマイナス成長を記録しました。その後、日本は省資源・省エネルギー化を進め、緩やかな「安定成長」の時代へと入ることになります。
問2	答え 1 1882年の同盟はオーストリア・イタリアと結んだものであり、1940年の同盟は日本・イタリアと結んだものである。	19世紀後半の「三国同盟」は、統一後のドイツ帝国がフランスを孤立させるためにオーストリア・イタリアと結んだ軍事同盟です。一方で「日独伊三国同盟」は、第二次世界大戦において枢軸国側の結束を固めるために日本・ドイツ・イタリアの間で調印されたもので、時代も相手国も異なります。名称が似ているため、それぞれの時期と構成国を明確に区別する必要があります。
問3	答え 3 ヨーロッパ系以外の移民を制限していたが、廃止後は多様な民族の文化を尊重する多文化主義へと転換した。	白豪主義は、白人（特にイギリス系）を優先し、アジア系などの移民を排除する政策でした。しかし、国際社会からの批判やアジア諸国との関係強化、労働力確保の観点からこの政策は撤廃されました。その後、オーストラリアは異なる文化や背景を持つ人々が共生する「多文化主義」の社会を目指すようになり、現在ではアジアからの移民も多く受け入れています。
問4	答え 3 アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。	1989年のマルタ会談は、第二次世界大戦後の世界を「西側」と「東側」に二分していた冷戦構造を終わらせる歴史的な出来事でした。これにより、軍備拡張競争や一触即発の緊張状態が和らぎ、翌1990年のドイツ再統一や、その後のソ連解体へとつながる国際秩序の激変を象徴するものとなりました。他の選択肢は、1949年の中国共産党による国家成立や、1955年のバンドン会議、1993年のEU発足など、異なる時期の出来事に関する記述です。
問5	答え 4 ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった	ベルリンの壁の崩壊は1989年の出来事であり、1972年（沖縄返還）から1993年（55年体制の崩壊）の間の期間に合致しています。日ソ共同宣言は1956年、日中共同声明は1972年（沖縄返還と同年に発表されたが、返還よりも前の出来事）、サンフランシスコ平和条約は1951年の出来事であるため、この期間の出来事としてはベルリンの壁崩壊が正解となります。
問6	答え 1 マルタ会談	1989年に地中海のマルタ島で行われたこの会談は、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によって開催されました。第二次世界大戦後の1945年にドイツの戦後処理などを話し合ったヤルタ会談やポツダム会談とは開催時期も内容も異なります。1989年は東欧革命の真っ只中であり、ドイツを分断していたベルリンの壁が崩壊した歴史的な年でもあります。
問7	答え 2 情報を発信する側と受け取る側の境界が低くなり、互いに情報を送り合うこと。	インターネットの普及により、個人が情報の「受け手」として留まるだけでなく、自らも「送り手」となって情報を発信し、それに対して他のユーザーが反応を返すという構造が生まれました。このように、情報の流れる方向が固定されず、互いに入れ替わりながら情報のやり取りができる性質が双方向性の本質です。
問8	答え 1 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。	1970年代にかけてオーストラリアが白豪主義を廃止した背景には、従来のイギリスなどのヨーロッパ諸国を重視する姿勢から、地理的に近いアジア太平洋地域の一員として経済的・政治的な関係を深める方針へと転換したことがあります。この変化により、アジアなど様々な地域からの移民が増加し、現在の多文化社会が形成されました。選択肢にあるインカ帝国やアメリカによる統治、流刑地維持のための移民禁止などは歴史的事実と異なります。
問9	答え 4 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため	一九八〇年代後半から、ソ連ではベレストロイカ（改革）と呼ばれる政治・経済の立て直しが進められました。しかし、この改革が経済的な混乱や食料不足を招き、政府への不満が高まったことで、連邦からの離脱を求める各共和国の独立運動に拍車がかかることとなりました。
問10	答え 1 日韓基本条約によって韓国との国交が正常化し、1990年には東西に分かれていたドイツが統一された。	日本は1965年に日韓基本条約を締結し、大韓民国との間で国交を正常化させました。世界情勢に目を向けると、1980年代後半からの冷戦終結の流れの中で、1990年にドイツ統一が実現しました。イギリスから中国への香港返還が行われたのは、冷戦後の1997年のことです。
問11	答え 1 欧州連合（EU）	第二次世界大戦後のヨーロッパでは、戦争を防止し経済を活性化させるために統合の動きが始まりました。1993年にマーストリヒト条約が発効したことで、それまでの経済的な協力の枠組みが、政治的な協力や共通の外交・安全保障政策を含むより強固な「欧州連合（EU）」へと発展しました。これにより、域内での自由な移動や共通通貨ユーロの導入などが進められることとなりました。
問12	答え 2 1882年に「国際極年」が制定され、国境を越えた科学的な国際観測が行われるようになった。	1882年の国際極年は、複数の国が協力して北極などの極地観測を行うための最初の大規模な国際科学プロジェクトでした。国際連盟は第一次世界大戦後に設立されましたが、アメリカは議会の反対により不参加でした。また、欧州連合（EU）の前身は欧州共同体（EC）であり、EUの発足は1993年です。地球サミットは1992年にブラジルのリオデジャネイロで開かれ、環境問題をテーマにしていました。